

ガムブーツ

1958年、スケラップ社(ニュージーランド)で生まれて以来、変わらないデザインで愛されて続けています。日々放牧地を歩くファーマー達に使われ続けているのは、まさに信頼の証。単なる長靴ではなく、履いた人は皆、ニュージーランドの歴史や文化に触れることになるでしょう。



細部にも ファーマーの日常に沿ったデザイン

一日何度も脱ぎ履きするファーマーが、両手がふさがっても脱ぎやすいよう、踵(かかと)部にわずかな突起があります。アウトソール(底面)は泥土がついてもはたき落しやすい様な独特のパターンになっており、このような他の長靴にはない細かな点も、ファーマーたちに長年愛される所以でしょう。



400万回の曲げ試験にも耐える 高い耐久性

ニュージーランドの試験で、400万回以上折り曲げても、ゴムが裂けないことが証明されています。さらに内部にキャンパス(綿)地を採用することで、耐衝撃性も向上。鋭利なものからの衝撃によって、破けたり、裂けたりした時に足を守ります。ハードワークにもってこいの長靴です。

型式名		日本サイズ(cm) / (表示サイズ)								
	レッドバンド	メンズ(男性)	—	—	—	25/M5	25.5/M5	26/M7	27/M8	28/M9
	レディース(女性)	22/W3	23/W4	24.5/W5	25/W6	—	—	—	—	—
	パース	メンズ(男性)	—	—	—	25/M5	25.5/M5	26/M7	27/M8	28/M9
	レディース(女性)	22/W3	23/W4	24.5/W5	25/W6	—	—	—	—	—

※レディース(女性)サイズは丈が少し短く、ふくらはぎ周りも細めに作られています。

**ガムブーツソックス**

- ・長靴のためのインナー
- ・サイズ: 21-24cm / 25-29cm

**ライトガムブーツソックス**

- ・長靴のためのインナー
- ・サイズ: 21-24cm / 25-29cm

**インソール(中敷き)**

- ・ウール100%
- ・女性で足のサイズが23~24.5cmの方はサイズ4、25cmの方はサイズ5をお選びください。

電気柵システム

TEL 001 お問い合わせください



電気柵は放牧など家畜のコントロールを行うために生み出されたシステムです。特に放牧のメリットを最大限に活かす「集約放牧」を行う際に非常に効果的です。集約放牧とは、草地を区切り、毎日ウシなどの家畜を移動させることで、高い栄養価の短草状態の牧草を安定的に供給し、草地と家畜の生産性を高める放牧方式です。

電気柵は頑丈で長持ちする恒久柵から、簡単に設置できる移動柵まで4種類のシステムがあります。どのような放牧をするのか、導入コストや施工性など、様々な角度から検討しましょう。

フィールドフェンス

TEL 001 お問い合わせください

フィールドフェンスは緊張できる特殊なネットフェンスです。緊張することで柵の強度が増すだけでなく、ポスト(支柱)の間隔を広げることができます。専用施工道具を使用することで、安価に誰でもこのネットフェンスを張ることができます。

特に、放牧地を囲う「外周柵」は脱柵防止だけでなく、野生動物対策も兼用できる仕様が望ましいでしょう。目先の経費を抑えるよりも、放牧で生産性を高めるための「投資」と考えることで、将来的には、牧場経営に大きな差を生む可能性が考えられます。



POINT

別冊カタログがございます。詳しくはお問い合わせください。

電気柵、フィールドフェンスには別冊カタログがございます。全国無料にて配送いたしますので、お気軽にお問い合わせください。



哺乳関連資材

飼槽

家畜用水槽

ファームゲート

アブキャップ

キャトルヤード

牧道泥浄化対策資材

草地管理機器 その他



### グラスファーマーミングスクール

日本でも本格的な放牧が学べる場を。その声に応えるべく、1996年より開催しているのがグラスファーマーミングスクールです。放牧の知識・技術に加え商品化、さらには経営全般に精通する、全方位型の”強い”酪農・畜産生産者を育成します。農業関係者に限らず、志のある幅広い方々が全国から参加されています。毎年、夏季講座と秋季講座があり、「土、草、牛」をテーマに、創造的な経営力を多彩な講師陣、サポーターと共に育みます。



### POINT

#### 2018年開催スケジュール(予定)

内容は変更される可能性がありますので、詳しくは、創地農業21ホームページ(<http://www.souchi21.jp/>)または、ファームエイジオフィシャルサイト(<http://farmage.co.jp/>)をご覧ください、お電話にて直接お問い合わせください。

(夏季講座)

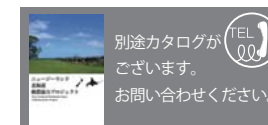
日程:2018年 7月3日(火)、4日(水)、5日(木)  
場所:北海道天塩町にて開催予定

(秋季講座)

日程:2018年 11月19日(月)、20日(火)  
場所:北海道札幌市近郊にて開催予定

### ニュージーランド北海道酪農協力プロジェクト

ニュージーランド政府とニュージーランド主要乳業会社が資金提供し、北海道庁協力のもと、北海道内の5件の酪農家において経営効率の向上を目的に調査分析が行われています。当社は日本での窓口業務と情報収集のコーディネートを担当します。



### ニュージーランド スタディツアー

ニュージーランドの最先端の放牧技術や豊かな農場文化を学んでいただくため、創業時より毎年実施しています。ツアーの日程はおよそ1週間程度で、詳細は毎年変わりますが、プログラムの基本は土づくり、草づくりの牧草管理技術から搾乳まで、多くのすぐれたノウハウを一度に効率的に学ぶことです。技術もさることながら、ゆとりある環境で育まれたライフスタイルは、いつも参加者を魅了しています。



### 放牧・野生動物対策出前セミナー

ご要望に応じて、放牧セミナーの訪問開催を行っています。講義、ケーススタディ、フィールドセミナー、経営シミュレーションなど、放牧セミナーのスタイルも、その条件や都合に合わせて選択できます。これまでに、放牧への転換、研究会の立ち上げ、新規就農者の入植先の紹介などに実績を上げています。



### POINT

セミナーは随時受け付けております。詳しくはお問合せください。

開催時期や開催内容については変更される予定がありますので、詳しくはお問い合わせください。(TEL:0120-82-4390)

哺乳関連資材

飼槽

家畜用水槽

ファームゲート

アブキャップ

キャトルヤード

牧道、泥浄化対策資材

草地管理機器  
その他